

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 3 月 2 日 (2006.3.2)

【公表番号】特表 2002-500893 (P2002-500893A)

【公表日】平成 14 年 1 月 15 日 (2002.1.15)

【出願番号】特願 2000-528711 (P2000-528711)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 Q 1/04 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 Q 1/04

C 1 2 Q 1/68 A

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 1 月 11 日 (2006.1.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 伸長因子 E F - T u をコードする m R N A が核酸増幅反応における標的として用いられ、かつ該 m R N A の存在及び / 又は量が決定される、バクテリアの生存率の評価のための方法。

【請求項 2】 核酸増幅反応が転写依拠増幅反応である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】 転写依拠増幅反応が N A S B A である、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】 増幅された m R N A が、相補的な標識されたプローブを用いて検出される、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 5】 プローブに電気化学発光標識が供与されている、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】 バクテリアがミコバクテリア (M i c o b a c t e r i a) である、先行する請求項のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 7】 ミコバクテリアエの種が結核菌 (M . t u b e r c u l o s i s) 又はらい菌 (M . l e p r a e) である、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】 10 ~ 50ヌクレオチド長であり、かつ配列番号 1 ~ 6 または 8 に記された配列のうちの一つ又はそれらの相補的配列の少なくとも 10 個の連続するヌクレオチドを含む、バクテリア E F - T u m R N A 配列の配列と実質的に相補的なオリゴヌクレオチド。

【請求項 9】 10 ~ 50ヌクレオチド長であり、かつ配列番号 7 に記された配列またはその相補的配列を含む、バクテリア E F - T u m R N A 配列の配列と実質的に相補的なオリゴヌクレオチド。

【請求項 10】 それぞれ、配列番号 9 に記された配列の少なくとも 10 個の連続するヌクレオチドを含むオリゴヌクレオチドと、配列番号 2 に記された配列の少なくとも 10 個の連続するヌクレオチドを含むオリゴヌクレオチドとからなる、結核菌の E F - T u 遺伝子内の配列の増幅のためのオリゴヌクレオチド対。

【請求項 11】 それぞれ、配列番号 10 に記された配列の少なくとも 10 個の連続するヌクレオチドを含む第一のオリゴヌクレオチドと、配列番号 4 に記された配列の少な

くとも10個の連続するヌクレオチドを含む第二のオリゴヌクレオチドとからなる、らい菌のEF-Tu遺伝子内の配列の増幅のためのオリゴヌクレオチド対。

【請求項12】 それぞれ、配列番号11に記された配列の少なくとも10個の連続するヌクレオチドを含む第一のオリゴヌクレオチドと、配列番号6に記された配列の少なくとも10個の連続するヌクレオチドを含む第二のオリゴヌクレオチドとからなる、大腸菌(E.coli)のEF-Tu遺伝子内の配列の増幅のためのオリゴヌクレオチド対。

【請求項13】 第一のオリゴヌクレオチドがRNAポリメラーゼにより認識されるプロモーターの配列をさらに含む、請求項11または12に記載のオリゴヌクレオチド対。

【請求項14】 プロモーターの配列がT7RNAポリメラーゼにより認識されるプロモーターの配列である、請求項13に記載のオリゴヌクレオチド対。

【請求項15】 それぞれ請求項12、13、又は14に記載のオリゴヌクレオチド対がEf-Tu mRNAを増幅するために用いられ、かつ増幅された核酸の存在及び/又は量が検出される、結核菌、らい菌、又は大腸菌の生存率の評価のための方法。

【請求項16】 配列番号7に記された配列の少なくとも10個の連続するヌクレオチドを有する捕捉プローブと、配列番号8に記された配列の少なくとも10個の連続するヌクレオチドを有する標識された検出プローブとを用いたサンドイッチ・ハイブリダイゼーション・アッセイを用いて、結核菌又はらい菌の生存率が評価され、かつ増幅された核酸の検出が実施される、請求項15に記載の方法。

【請求項17】 配列番号12に記された配列の少なくとも10個の連続するヌクレオチドを有する捕捉プローブ、及び配列番号13に記された配列の少なくとも10個の連続するヌクレオチドを有する標識された検出プローブを用いたサンドイッチ・ハイブリダイゼーション・アッセイを用いて、大腸菌の生存率が評価され、かつ増幅された核酸の検出が実施される、請求項15に記載の方法。

【請求項18】 - 請求項10又は11に記載のオリゴヌクレオチド対、
- 検出可能な標識が供与された、増幅された核酸配列の少なくとも一部と実質的に相補的な核酸配列を含む少なくとも一つのオリゴヌクレオチド、
- 適当な増幅試薬

を含む、試料中のミコバクテリアEF-Tu mRNAの検出のための試験キット。

【請求項19】 - 請求項12に記載のオリゴヌクレオチド対、
- 検出可能な標識が供与された、増幅された核酸配列の少なくとも一部と実質的に相補的な核酸配列を含む少なくとも一つのオリゴヌクレオチド、
- 適当な増幅試薬

を含む、試料中の大腸菌バクテリアEF-Tu mRNAの検出のための試験キット。